

第8回半田市議会定例会 文教厚生委員会委員長報告書

当文教厚生委員会に付託された案件については、9月5日の午後1時30分から、委員会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

始めに、議案第61号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金返還金について、返還金が発生した経緯はどのようなか。また、本交付金は次年度も同じ内容で申請できるのか。とに対し、

返還金の経緯は、介護施設において浴室の改修工事を予定していたものの、給湯器の納品が見込めず、年度内の工事を見送ることとしたためです。

次年度以降でも交付対象となれば、申請可能であるため、機会を捉えてご案内をしていく予定です。とのこと。

生活困窮者支援団体活動費補助金について、補助の対象となるのは、主にどのような団体か。また、各団体で上限額まで補助が受けられるよう、半田市としても協力してもらえるのか。とに対し、

現在、市と連携した支援を行っており、補助対象として把握している団体は、半田市社会福祉協議会をはじめ、子ども食堂を実施している8団体に加え、子どもへの学用品等の支援を行っている団体、学習支援を行っている団体の合計11団体です。

補助の申請にあたっては、上限額の範囲内で補助金を有効活用できるよう各団体に説明していきます。とのこと。

地域介護・福祉空間整備等事業について、介護施設にスプリンクラーや面会室の陰圧装置を設置することのだが、各施設にいくつまで設置することができるのか。とに対し、

1 施設あたりの交付上限額が決まっているため、設置数に関わらず上限額の範囲内において補助を行うものです。とのこと。

キッズコーナー装飾委託料について、寄附金でキッズコーナーの装飾を行うこととした経緯、また、装飾の内容はどのようなか。とに対し、

ご寄附の趣旨が「子どもと家族支援のために」とのことであったため、新設した子育て相談課の窓口で、保護者が落ち着いて相談ができるよう、保護者の相談中に子どもたちがより楽しんで過ごせる空間づくりを進めることとしました。装飾の内容としては、キッズコーナーの上部からモビールを吊り下げたり、2階の吹き抜け窓をシールで飾る予定です。とのこと。

生活保護運営対策事業について、会計年度任用職員を増員する経緯はなにか。とに対し、

就労支援に関する業務が増加しており、ケースワーカーの負担が大きくなっています。超過勤務が増加している状況を改善するため、就労支援業務の補助を行う職員を増員するものです。とのこと。

生活保護業務デジタル化運用支援委託料について、生活保護業務のデジタル化として、どのような取組みを行うのか。とに対し、

ケースワーカーが家庭訪問で聞き取った生活状況等を記録するタブレットを導入し、訪問記録の作成を行います。また、生活保護業務における手書きの申請書類をデジタルデータで管理できるようにします。とのこと。

半田運動公園管理運営事業のうち、空調設備改修工事について、今回改修を行う部屋以外も老朽化が進んでいると思うが、今後の改修を行う予定はあるか。とに対し、

今回改修を行う管理棟については、本工事を終われば、その後に大きな改修工事は不要であるため、今後の改修予定は特にありません。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第62号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

特定健康診査受診者と特定保健指導の当初見込みと実績値は何人か。また、市民への周知はどのように行っているのか。とに対し、

特定健康診査の当初見込みは9,783人で、実績は9,233人です。

特定保健指導の当初見込みは573人で、実績は314人です。

市民への周知方法は、文書による案内と電話等による勧奨を行っています。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第63号及び議案第67号の2議案については、それぞれ補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、議案ごとに採決した結果、2議案とも、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。